



子どもたちの主体性を育み、伸ばす小学校



東山

Higashiyama Elementary School

令和7年度 学校だより

1月号

令和8年1月6日
目黒区立東山小学校
校長 村尾 勝利

新年を迎えて

校長 村尾 勝利



新年 あけまして、おめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

うま年は、明るく活発で行動力と社交性に富み、エネルギーに目標へ突き進む年とされ、子どもたちには自分の目標に向かって頑張って欲しいと思います。本年度も引き続き、保護者、東山住区、関係機関の皆様の本校の教育活動へのご理解・ご協力を願ひいたします。

新年にあたり、改めて東山小学校の教育についてお伝えしたいと思います。

現在、教育の在り方は、知識の詰め込みから「主体的・対話的で深い学び」や「コンピテンシー（生きる力）」の育成への転換期を迎え、個別最適化された学び（子ども一人ひとりの特性や学習進度、興味関心に合わせて進める学び方）と協働的な学び（多様な他者と意見交流・協力し、課題解決などに取り組む学び方）、デジタル化、グローバル化や情報化に対応する「21世紀型能力」として、知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力・情報活用能力などの育成が将来社会で求められています。

これらの共通基盤となるのが「主体的な学び」と「学びに向かう力」です。そして学校教育は『子供たちは、学ぶ力を備えている。それを教師がどう引き出し、伸ばすか。』を問う営みだと考えています。

本校では、自己選択学習「マイスタ（自分で学習内容を決めて取り組む方法）」や「自己調整学習（1つの単元内容すべてを自分の力で学習していく方法）」の研究開発を行い、昨年11月には本校の研究発表会に全国から400名以上が来校するなど、新しい学校教育として注目されました。

授業だけでなく、生活指導や委員会活動などでも、児童の主体性を尊重した取り組みを促進していきながら、東山小しかできない、子どもたちのための教育に努めてまいります。

今月の主な予定

*詳しくは学年だよりをご確認ください。

★スクールカウンセラーの勤務曜日 月曜日(廣内 SC)・火曜日(川上 SC)・水曜日(池田 SC)・木曜日(柴原 SC)

1/7	水	冬季休業日終了
1/8	木	4時間授業 下校12:00 給食なし 全校朝会 6年書初め会 1年発育測定
1/9	金	給食開始 避難訓練 5年・3年書初め会 2年発育測定
1/13	火	安全指導 4年書初め会 5年発育測定
1/14	水	マイスタあり 下校13:40 4年発育測定 6年能と狂言①
1/15	木	健康指導 3年発育測定 6年能と狂言② 健トレ
1/16	金	ともあそび
1/19	月	5.6年委員会活動 書初め掲示始
1/20	火	3年社会科見学 給食試食会
1/22	木	音楽集会(5年生演奏発表) 健トレ
1/23	金	5年連合音楽会
1/24	土	学校公開・道徳授業地区公開講座(4時間授業下校12:00)
1/26	月	振替休業日
1/27	火	4.5.6年クラブ活動(3年クラブ見学②) 3年連合展覧会
1/29	木	新1年生保護者会
1/30	金	書初め掲示終

東山小の子どもたち

～学芸会当日の様子～

1年生

「アイウエオリババ」

初めての学芸会。自分の役になりきるために、動きを付けて演じました。たくさん的人に見られて緊張をしましたが、堂々と台詞を言う姿が見られました。最後の「ありがとうございます」では、手話を付けて歌い、可愛らしい1年生の劇を披露することができました。



2年生

「とりの王様コンテスト」

2年生は、「一人一人が主役になって、観る人全員に届く演技をしよう！」をめあてに、練習に取り組みました。声の大きさや速さ、身振り手振りなど、観る人の立場になって、工夫することができました。児童は、一人でも欠けては劇が完成しないこと、自分が練習を通して成長できたことを実感できていたようです。当日のご参観や、衣装の用意など本当にありがとうございました。



3年生

「ナマケロ ナマケロ」

「自分は怠け者」と決めつけ、ついおちやらけてしまう「ひかる」を中心とする子どもたちの心の成長を描いた作品です。「頑張ることはかっこ悪いことではない」「失敗を恐れずやってみよう！」、少しずつ人の目が気になり始めた3年生たちにメッセージを込めました。

手のひらに「人」という字を書いて緊張をほぐしながらも、大きな声で演技をしたり、歌ったりする子どもたちに胸が熱くなりました。みんなで歌った「やってみよう！」の歌詞のように、失敗を恐れず、これからもいろいろなことに挑戦してほしいです。



4年生

「オズの魔法使い」

学年みんなで「心をひとつに」を合言葉に、練習を重ねてきました。「みんなでやるから意味がある」ことを意識しながら、セリフの一つ一つや細かい動きの修正を何度も繰り返し、よりよいものに仕上げようとがんばりました。

当日は、舞台に立つことを楽しみながら全員が力を出し切り、堂々と発表することができました。



5年生

「夢からさめた夢」

練習でも、本番でも、常に「一歩でもよりよいものを！」と気持ちのこもったチャレンジを見せた5年生。演技に磨きを掛けたり、仲間とのタイミングを工夫したり、全力で声を出したり、裏方での役割を地道に果たしたり…「誰かの助けがあって、自分の演技の場が支えられているんだ」と気付いた児童も多くいました。

さらに、学芸会前後には会場準備・片付けにも取り組みました。椅子運びやひな壇運びなど、力仕事にもすんで力を発揮でき、高学年として学校行事を支える経験も積みました。頼もしい限りです。



6年生

「モモと時間どろぼう」

私たちの日常生活において、時間は切り離すことのできないものです。6年生は今年、忙しい中でも自分で時間を見つけながら学校行事や学校全体に関わる仕事に取り組んできました。子どもたちは、そんな自分たちの生活を振り返り、他学年や見ている方たちにどのようなメッセージを伝えたいかを真剣に考えて練習・本番に臨みました。自分の時間も、他人の時間も大切にできる最高学年として、残りの学校生活を過ごしていきます。



1月の生活目標　日々の生活を正して　学校生活を送ろう

～代表委員会で話し合い、児童が決めています～

第1週 時刻を守って行動しよう

第2週 持ち物の管理を心がけよう

第3週 ルールを守って、正しく新しいiPadを使おう

奉仕活動

特別活動部

学校をきれいにするために、環境委員が中心となって奉仕活動を行いました。校庭や屋上、庭園の落ち葉拾い、草抜きを行う中で大変さを知り、日頃お世話になっている用務員さんへ、感謝の気持ちをもちました。今回の奉仕活動は、1・6年、2・5年、3・4年のペア学年で活動し、上級生が優しく声を掛けながら取り組む姿も見られました。奉仕活動を通して、働くことの心地よさや喜びを感じ、周囲の人々のために自ら進んで行動しようとする気持ちを育んでいきたいと思います。



委員会活動やクラブ活動での活用

ICT 推進部

先日新しいタブレット端末が配布されました。委員会では、企画の立案や話し合いの調整、全校への発表ツールとして活用しています。また、クラブ活動でも内容を集約したり、持ち物の確認をしたりするなどみんなが楽しくスムーズに活動できるように活用しています。

目的をもってタブレット端末を積極的に活用し、よりよい活動にしていこうとする子どもたちを引き続きサポートし、主体性を育てていきたいと考えています。

道徳授業地区公開講座

道徳主任

今年度の道徳授業地区公開講座では、法務省人権擁護委員の本多浩一様をお招きし、「人権」をテーマとした講演会を6年生対象に行います。講演では、誰もが大切にされる存在であることや、差別や偏見をなくし、互いを尊重することの大切さについてお話をいただきます。子どもたちが自分や周囲の人を大切にし、よりよい人間関係を築いていくきっかけとなることを願っています。

ペースランニング

体育的行事委員会

ペースランニングは、5分間自分のペースで最後まで走りきること、持久力を高めることを目的とした運動です。12月3日からペースランニング週間が始まり、中休みや体育の学習でペースランニングに取り組みました。記録会では、走るペースに気を付けながら、取り組む姿が見られました。今後も体力向上に努めてほしいと思います。

「学芸会」 | 2月13日(土) ~一部抜粋~

- ・ 一年生、1人1人に、少しづつではあっても、それぞれの「見せ場」を設けるという方法が、とても良いと思った。5クラスの生徒皆に役割を振ると、さすがに、1人1人の単独のセリフは少なくなるが、ステージに上がっていない両脇に控えた生徒達も、終始、劇を盛り上げる工夫がなされていて、大人数ならではの迫力があり、大変見応えがあった！
- ・ この度初めて皆で力を合わせて練習して作り上げる様子を見て、とても感動しました。恥ずかしがり屋で大勢の前ではいつも小さな声の娘ですので、セリフをとても頑張って声を張り上げているのが伝わってきました。彼女にとって自分の殻を少し破ることができた、そんな貴重な学芸会になったと思います。
- ・ 最初は自分の娘やよく知っている子の出番に注目していましたが、気づいたら劇のストーリーに引き込まれていきました。観客を魅了する内容、演技だったなと思います。そして最後の部屋が明るくなってから学年全員による歌の場面、地球まるごとわっはっはは、感動でした。自分の娘が属して新しい世代のエネルギーが響いてきた感じです。たくさん元気と優しさをもらいました。
- ・ こども達がとても生き生きしていてお友達と楽しそうにしている姿を見て3年生の一体感を感じました。なまけろの歌の歌詞も今の3年生のこども達へのメッセージな感じがして感動しました。
- ・ 名前付きの役はオーディション形式だったということで、前にでたい子・恥ずかしがりやの子、自由に選べるのはよいと思いました。一役を何人かで担当しているのを利用した演出も素晴らしいです。
- ・ 一ヶ月で仕上げたとは思えない素晴らしい劇でした。子ども達がイキイキと演じている姿が眩しかったです。歌も演技も素晴らしいですし、声が出ていたのも感動しました。先生の脚本もトレンドも入れて、楽しく見させていただきました。最後の曲「自信をもって」で泣いてしまいました。オズの魔法使いの伝えたいメッセージも4年生にとても合っていると思いました。
- ・ 劇も歌もとても上手で感動しました。二年生と時と比較しこんなにも成長するのだと驚きました。
- ・ あいさつや演奏、大道具や照明なども含め、子どもたちが主体になって取り組んでいる様子を見て、成長を感じました。
- ・ ひとつひとつのセリフが聞き取りやすく、考えながら演じていたので、こちらも物語の世界に引き込まれ、思わず涙してしまいました。さすが5年生だなと思いました。
- ・ 小学校最後のイベント、お疲れ様でした。純粋に、まっすぐに、一生懸命取り組んだ事が伝わる発表で、感動しました。娘は裏方を任せた事を自信を持って対応したようで、チームでゴールを目指す事の大切さを学べたのではないかと思います。ありがとうございました！
- ・ 小学校最後の大イベント、子供一人一人頑張って楽しんでいたと感じます。ずっとドロボウの話だったから最初はやる気が出なかったようですが、ストーリーを理解するため本を借りて読んでみたり、オーディションを受けてみたり、背景や飾りも自分の手で作ったりして、最後はみんなで素晴らしい舞台を創り上げることができ、思い出の詰まった演出になったとみえます。入学時は6年間長いといつまでも続くとさえ思っていましたが、あっという間に卒業を迎えようとする子供たちの成長の集大成をこの機会に見て感じて感無量でした。本当にありがとうございました！
- ・ 歌が得意な子、演じる事が好きな子、なんとなく恥ずかしい子、ピアノが得意な子
それぞれに合った配役や役割を与えていただき、一人一人が自分らしく経験を重ねられた学芸会だと感じました。また、時間泥棒モモという演目も、大人になるとつい忘れてしまう、大切な事を振り返る機会となりました。

アンケートには演技指導や運営についてのご意見やご指摘もいただきました。アンケートは全教職員で回覧し、次回の開催の内容や、方法等に生かしてまいります。